（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	あらゆる雇用・就業条件で差別のない体制を従業員および経営者が共に理解し、管理部内に相談窓口を設置している。					5.1 5.5			8.2 8.5									
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントを防ぐ管理職研修を行い、管理職が先生となり従業員に研修を行っている、管理部内に相談窓口を設置している。ハラスメントを禁止する旨を就業規則に定めている。					5.1 5.5			8.2 8.5									
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働基準法を経営者・管理職・従業員が理解し、労働時間などをＰＣで確認できる体制をとり、テレワークなどの多様な働きができる勤務体制をとっている。時間単位の有給休暇取得が可能。								8.2 8.5									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者も積極的に採用している。迎え入れる際には個々の風習を事前に社員と共有し、お互いにとって働きやすい環境となる様整備している。				4.4				8.2 8.5		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	基本的に社内に危険作業は存在しないが定期的に労働安全衛生講習会を実施している、また各種の安全衛生に関する資格講習を受講し関係部署内で周知徹底を図っている。			3.6														
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	管理職研修を行い、上長（管理職）・経営者の定期的な面接を実施。また有給休暇完全取得を奨励しメンタルヘルスの改善を図っている。 全社員が定期検診・保健指導を受けられる体制を整えている。				4.4				8.5									
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	多様な人材が活躍できる仕事の創出整備する。 定年後もできる限り働き続けてもらえる様な環境作りを心がけている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	職務や役割に応じた研修体制を整備し実施している。（英会話・貿易管理・主任、課長研修　他） 【予定】新入社員向けのマナー研修を予定している				4.4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備対応を行っている。 社員は全て月給制対応としている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	協会けんぽ、労働衛生協会の健康診断を定期的に実施し、40歳以上の全従業員にＰＥＴ検診を会社負担で実施している。協会けんぽ『健康づくりチャレンジ宣言』を行っている。 従業員全員（希望者のみ）会社負担にてインフルエンザ予防接種を実施している			3.9														
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物の種類量を把握し台帳を管理している、過剰梱包をなくし梱包資材低減の為に通い箱の利用を促進している。												13					
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	省エネ委員会を設置しエネルギーの削減とともに、社内照明のLED化により、日々のエネルギーの使用量を把握管理し削減している。 電気使用量を毎月掲示し、節電に対する意識付けを実施している。							7										
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	冷暖房温度の管理、クールビズ・ワームビズの奨励、社内照明器具のLED化により省エネを推進している。弊社製造のハイブリッドＩＣの検査装置は自動車の燃費改善に大きく寄与している。							7										
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	社内において有害部質は使用していないが、装置を製造するにあたり法令等で規制される物質は設計標準等で使用を禁止している。また再生可能材料の使用を推奨している。			3.9								11.6	12.4 12.5					
15		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	再生可能材料の使用や公害・有害物質の不使用を設計標準で規定し生物の多様性や生態系に悪影響及ぼさないように配慮している。						6									15		
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	再生可能材料の使用や不要・長期未使用在庫の削減に努め、再利用を考慮して廃却物の材質分別に配慮している。												13					
17		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	水使用状況を把握し使用量削減の計画を策定し実行している。						6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18		□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】ＩＳＯなどは取得していないが、重要性を把握し中小企業が持続的に活動できるように骨子部を尊重してアレンジし、経営者直属の組織を設置しエネルギー、水、産業廃棄物処理等を管理低減する活動を実施している。			3.9			6	7					12		14	15		
19		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】ＨＰ等で環境の取り組み情報を公開したい。												12					
20		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】敷地空きスペースに太陽光パネルの設置の検討をしたい。							7										
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	社屋敷地内の落葉で堆肥を作り、近隣住民に提供している。 【予定】装置に天然資源の使用はないが、将来的に使用の可否を検討する。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	特に金銭等に関わる件は、必ず複数人で確認することを決めて実行している。 社訓（人と社会の幸福と世界の発展に貢献）に沿った事業展開をしている。																16.5	
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】　不正競争行為を含む行動規範を整備し、社内研修を実施していく。																17	
24		□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	社規定に特許・実用新案当知的財産権を尊重し取得管理し他社の知的財産権を侵害しないように定めている。重要性を認識させセミナーなどに積極的に参加している。								8.2	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社規定に個人情報保護法に準じ、「秘」情報として取り扱うものして定め実行している。												12.0					
26		□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【予定】自社製品の原材料サプライチェーンを把握する。									9								
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】取引先との人権侵害防止等の調査活動を行っていく。																17	
28	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	独自の品質・サービスなどの管理システムＱＳＮを構築し製品の品質・安全性などを確保している。								8.2	9.4								
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	独自の品質・サービスなどの管理システムＱＳＮを構築し製品の品質・安全性などを確保している。								8.2	9.4								
30		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	設計段階から使用部材の削減・省エネルギー・再生可能材料の使用などを考慮して製品を作り上げている。									9.4			13					
31		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	自動車の省燃費化、無人運転に必要なミリ波レーダーなどの検査装置を開発から量産まで手掛けている。長野県「ものづくりNAGANOエクセレンス2018」、中小企業庁「はばたく中小企業・小規模事業者・商店街 2018」に認定されている。			3.6						9.4		11	13			15		

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域（日本）においてさきがけ的な存在を意識している。町商工会から推薦されて通商産業省の地域未来牽引企業に登録（2020年10月）。			3.6						9.4		11.7	13			15		
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域小学校に書籍の寄付、敷地内に栗などを植栽し保育園児、老人ホームの住居者などが栗拾いなどを楽しんでいる、また庭園芝生はオープンガーデンとして開放している。											11.7						
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	【予定】現在は活用する地域資源がないが、将来対応する資源があれば積極的に活用する。											11						
35	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念・経営目標・行動規範などを明文化し、経営者が理念を持ち、あるべき姿を示している。 【予定】適時に説明や読み合わせを行い共有する。								8.2	9.4								
36		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	すべての会社規則は法令に基づき作成し、準拠尊守し企業活動を行い、コンプライアンスについてメール掲示板等で発信できる体制が整備されている。																16	
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	責任者（取締役）が統括し、管理部において対応する体制ができている。																16	
38		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーと常に情報交換を行い影響を把握し、改善等に努めている。																16	
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	【予定】リスクを特定評価しマネージメントをするプロセスを整備する。																16	
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	キャリア教育の一環として、地元中学校の職場体験実習を積極的に受入れ、働くことの意味や大切さを伝えている。 【予定】ＣＳＲ方針の策定、ＣＳＲマネージメントプロセスを整備していく。																16	
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事業継続計画（ＢＣＰ）を策定し定期的な訓練を実施している。											11						
42		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者候補がいて後継者育成プランに沿って進行中。											11						

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
SMBC三井住友銀行及び日本総合研究所の審査により４つの目標に貢献が期待できるとして「SDGs推進融資」企業として2019年度長野県唯一の私募債発行企業として認定される。	企業活動の中で生産性向上・廃棄物削減・環境配慮などに取り組む。			3.6					8.2	9.4			12.5					

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）